

## 田植えにかかる労力の軽減に向けて

～令和7年度水稲<sup>ちよくは</sup>直播栽培研修会を開催しました～

山武農業事務所改良普及課 令和7年8月25日発

山武地域では、水稲農家の大規模化が進んでおり、田植えまでの労力負担が問題となっています。そこで、当農業事務所では田植えの省力化技術として、水田に直接種もみをまく直播技術の研修会を、JA 山武郡市と合同で開催したところ、生産者及び関係機関合せて23名の参加がありました。

研修会では、乾いた水田に種もみをまく乾田直播栽培と、代かきをした水田に種もみをまく湛水直播栽培についての技術的な講習を行いました。その後、山武市内で湛水直播栽培が行われているほ場を視察しました。参加者からは、「慣行栽培に比べてコストはどうか」「直播栽培に取り組もうと思ったきっかけは」等、質問が出され、直播栽培に取り組む生産者と参加者の活発な意見交換が行われました。引き続き、水田営農の活性化に向け生産者の栽培技術向上を支援していきます。



ほ場視察の様子